



広 報

2011
2/10

No.558

あ

い

づ

ば

ん

げ



ばんげ保育所 団子さし

今月の内容

坂下初市	2~3
第五次振興計画	4~7
ふるさとCM大賞	8~9
食育だより	10
図書室だより	11
まちの話題	12
お知らせ information	13~17

町史編さんだより、軽自動車の手続き	18
現在のごみの排出状況	19
わたしたちの学校(ばんげ保育所)	20
7地区だより(八幡)・戸籍の窓口	21
健康づくり・すこやか	22~23
裏表紙(新旧のごみ袋交換忘れずに!)	



坂下初市大俵引き

新春恒例の奇祭「初市・大俵引き」が1月14日、町役場メインストリートで行われました。会場には、たくさんの方が駆けつけました。

大俵引きは、「上町（東方）が勝つとその年の米の値段が上がる（商売繁盛）」、「下町（西方）が勝つと豊作になる（暮らしが豊かになる）」と言われていました。

また、引き子は1年間無病息災になると言われ、今年も町内外から百名以上の引き子が集まりました。俵引きの前哨戦、ス

ポ少の東西対抗俵引きでは、小学生たちが寒さで顔を真っ赤に染めながらも、大人に負けぬ熱気で引き合いました。

そして迎えた祭りのメイン「大俵引き」。

大歓声が会場を包む中、大きな掛け声と共に勇壮かつ豪快な引き合いが展開されました。今年、下町（西方）の勝利となりました。

福豆俵まき

365個の福豆俵がまかれ、拾うと1年間福が授かるといわれている



大俵引き行事の起こりは、今から約4百年前といわれている。

大俵引きの勇ましさは到底言葉では言い表せないほど盛んを極め、若松のお城の偉いお侍の方々が大勢見物にこられるなど、見物人は人垣を作って声援したという。



西方白組が勝ち今年は豊作



大俵データ
 長さ 4m
 高さ 2.5m
 重さ 5t



電子レンジ
 齋藤久美子さん(茶屋町)

祭りの最後を締めくくる
 富くじ抽選会で見事景品を
 射止めたのは...



五穀豊穰を祈念して
 福餅つきが行われました



坂下初市のオープニングを飾った
 安兵衛太鼓のみなさん

新しい振興計画がスタートします！

～ 第五次会津坂下町振興計画 ～

平成21年7月に、住民と行政の協働による「地域が輝くまちづくり創造委員会」が組織化され、第五次会津坂下町振興計画の議論が始まりました。

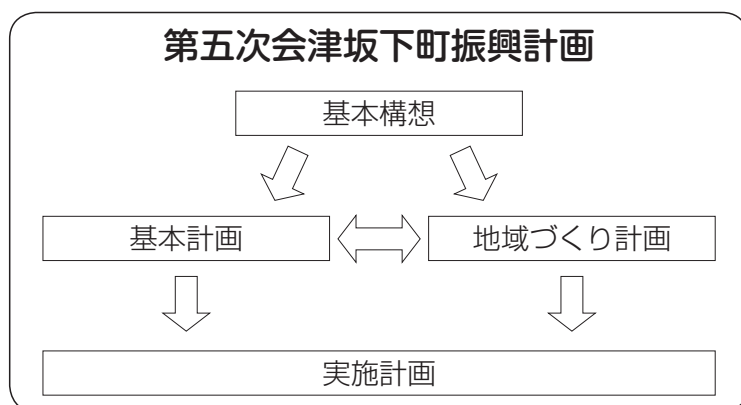
委員会では、振興計画の基本構想や基本計画の素案を策定しました。その後、町の各担当部局と協議を行い、12月の定例議会にて承認をいただき、新たな計画が平成23年度からスタートします。



振興計画って…

より良いまちづくりのため、町にはさまざまな計画が定められています。振興計画はこれらの計画の最上位に位置付けられる計画で、まちづくりの理念や目標、それに向けた施策を定めた総合計画です。

「基本構想」「基本計画」「地域づくり計画」「実施計画」の4つで構成されます。



基本構想【理念】

基本構想は、まちづくりの理念や将来像を明らかにするとともに、その将来像を実現するためにどのような取り組みをしていくかの大枠を示す、振興計画の核となる部分です。

計画期間は平成23年度から平成32年度までの10年間です。

基本構想の理念

「みんなで地域をつくる」

住民・地域・行政が一体となってまちづくりに取り組み、生まれて良かった、住んで良かったと心から思える町にすることがまちづくりの目標です。

今の時代だからこそ“人が中心”の地域社会の再構築が必要であり、「みんなで地域をつくる」を理念の中心に掲げ、協働による地域コミュニティの醸成を目指します。



👍 基本構想【まちづくりの将来像】

将来の会津坂下町はどんな町になっているでしょう？

10年後「こんなまちになりたい！」「こんなまちだったらいいな」という目指すべき会津坂下町の姿を、親しみやすいキャッチコピーと4つのテーマで表したものです。

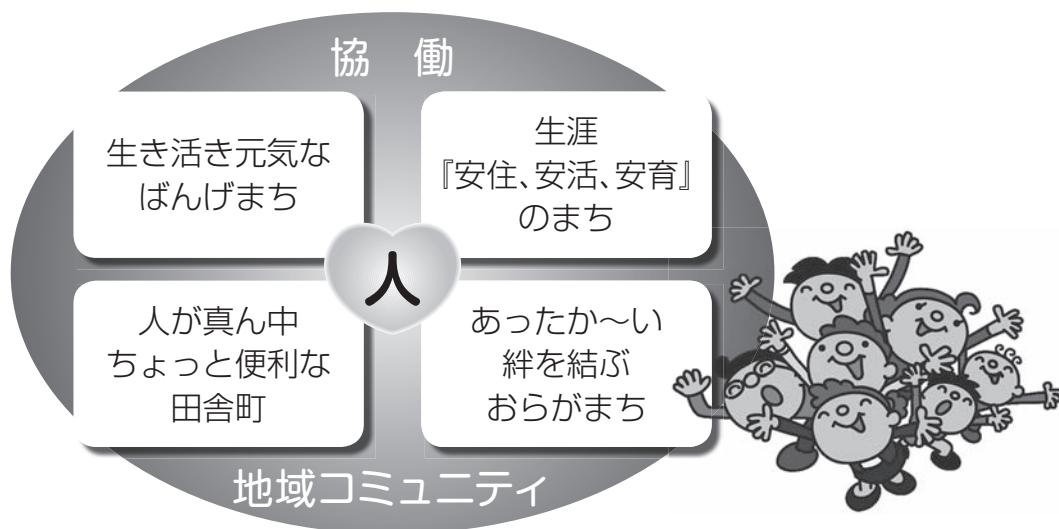
好き！ すき！ ばんげ！ ～ 2万人への挑戦 ～

「好き！すき！ばんげ」には、自分が好き、人が好き、地域が好き、町が好き、子どもからお年寄りまで「ばんげ」を好きになれるような「まちづくり」を進めていくという意味が込められています。

「2万人への挑戦」は、少子化による人口減少社会の中で、どのように人口を増やしていくのかという非常に難しい課題に、あえて挑戦していくという意気込みが込められています。

人が増えていくためには、「町に住み続けたい」「町に移り住みたい」というように魅力があり、活力ある町になることが必要です。その想いが今後のまちづくりには必要です。

また、定住人口に交流人口、さらには町の応援団も含めて、みんなでまちづくりを盛り上げていきたい、そんな目標の一つとして「2万人への挑戦」を掲げています。



○生き生き元気なばんげまち

住民みんなが「夢」「希望」「生きがい」「誇り」を持った、元気いっぱいの魅力的な町にします。

○生涯『安住、安活、安育』のまち

さまざまな安心を、住民みんなので支えあい、子どもから大人まで生涯安心して暮らせる町にします。

○人が真ん中 ちょっと便利な田舎町

都会すぎず、田舎すぎず、みんなが住みたいと思えるような、ちょっと便利な田舎町にします。

○あったか〜い絆を結ぶおらがまち

自分を活かし（自立）、人を活かし（共助）、心と心が通い合う。みんなが輝き、笑顔があふれる町にします。

この4つのテーマを、『人』を中心に「地域コミュニティ」の醸成を図りながら、住民・地域・行政の「協働」により実現していきます。



基本計画

基本計画は基本構想で示した、まちの将来像を実現するために必要となる施策を、分野別に体系化したものです。

第五次会津坂下町振興計画では、次の5つの体系で取り組んでいきます。

1 一人ひとりの個性と創造力を伸ばす、人を「育む」まち

自分を好きになり、町を好きになり、この町に住んで良かったと思えるような、誇り・生きがいを感じることができる町にします。

- ① 子どもを安心して生み育てられる環境の整備
- ② 安心して信頼ある教育の場の提供
- ③ 誰もが主体的に参加できる生涯学習の推進
- ④ 歴史・文化の保存・伝承



2 みんなが「元気」で、「安心」して暮らせるまち

心も身体も元気で、人と人とのつながりを大切にし、食に対する安心、生活に対する安心など様々な事で安心して暮らせる町にします。

- ① 元気で健康なからだづくり
- ② 安心できる福祉の提供
- ③ 安心・安全なまちづくり
- ④ 災害に強いまちづくり



3 人が集まり「活力」ある産業が生まれるまち

人がいるところに仕事生まれ、元気に働く笑顔が町に活力を与えます。若者だけでなく多くの人が集まり、活力ある産業が生まれる町にします。

- ① 特色を活かした農林業の振興
- ② 個性を活かした商工業の振興
- ③ 温かくもてなす観光の推進



4 「田舎」らしさを大切に、自然が輝き笑顔があふれるまち

緑豊かな田園風景、清らかな水辺の環境、昔の田舎らしさを大事にしなが、人・自然が輝き笑顔があふれる町にします。

- ① 地球環境を意識した循環型社会の形成
- ② 快適な生活環境の整備
- ③ 利用しやすい交通網の整備



5 地域とまちが一つの「絆」で「結び」合う連携のまち

人や地域が連携し、互いに助け合うことができる協働によるまちづくりを行います。

- ① 地域づくりの振興
- ② 住民と一緒に進めるまちづくり
- ③ 効果的・効率的な行財政の運営



地域づくり計画

地域づくり計画は、地区公民館単位に地域の特性を活かし、魅力的で活力ある地域にするため、住民による地域の目標や事業計画を取りまとめたもので、第五次会津坂下町振興計画の大きな特徴です。

昨年、全ての地区で「地域づくり協議会」が組織化され、計画を策定していただきました。今後は、この協議会が中心となって、地域が1つとなってより良い地域づくりに取り組んでいきます。

みなさんも自分の住む地域の活動に積極的に参加して下さい。

各地区の将来像、協議会の名称は次のとおりです。

坂下地区

「みんなでつくる、のびのび・いきいき、ばんげ未来図」

【ばんげの未来、かけ橋の会】

若宮地区

「みどりの里山、豊かな田園、でっかい青空、心のふるさと若宮の継承発展」

【ネットワーク生き生きわかみや】

金上地区

「笑顔でつながる、^{みのり}^{さと}穂の郷、かながみ」～夢すくすく笑顔の種を育てよう！～

【かながみ未来を創る会】

広瀬地区

「みんなが笑顔でいきいきと暮らせる広瀬を目指して！」

【広瀬地区を考える会】

川西地区

「みんなが主役、豊かな川西」

【川西地区地域づくり協議会】

八幡地区

「みんなの力で築く地域コミュニティ・地域で出来ることは、地域で実践」

【八幡地区地域づくり協議会】

高寺地区

「笑顔とロマンのふるさと高寺」

【高寺地区地域づくり協議会】